

指定管理者評価シート

事業名	札幌市社会自立センター管理業務	所管課(電話番号)	障がい保健福祉部障害福祉課 211-2938
-----	-----------------	-----------	------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市社会自立センター	所在地	札幌市東区伏古1条2丁目1番40号
開設時期	平成4年4月	延床面積	871.12㎡
目的	知的障がい者の社会参加を促進するため、生活指導、健康管理などに配慮した環境の下で労働する。		
事業概要	就労継続支援A型（及び自主事業による就労継続支援B型併設）		
主要施設	作業室2室、更衣室、休憩室、食堂、相談室、医務室		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人 札幌親会		
指定期間	令和5(2023年)4月1日～令和10(2028)年3月31日		
募集方法	非公募(理由)管理期間中の管理が良好に行われていると認められたことから、札幌市福祉施設条例第13条第2項の規定に基づき非公募とした。		
指定単位	施設数:1		
	複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、施設事業計画及び実務に関する業務、施設利用承認業務 等		
3 評価単位	施設数:1		
	複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和7年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価			
1 業務の要求水準達成度						
(1)統括管理 業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 さっぽろ障がい者プラン2018の基本理念に記載された共生社会の実現に向けて、「地域生活移行や就労支援などの課題に対応したサービス基盤の整備」及び「福祉施設から一般就労」に向けて、社会自立センターとして「生活支援、健康管理などに配慮した環境の下で就労の機会の提供を行うことにより、就労に必要な知識及び能力向上のための訓練、その他のサービスを適切かつ効果的に行い、社会自立を促進すること」を基本方針として策定した。 ○個別支援計画に基づき支援を行い、利用者の就労に必要な力を育てます。 ○利用者の仕事と生活を理解しバランスを保ちつつ、働きながら地域生活が継続され、または可能になるよう支援します。 ○仕事の理解・技術を高め、仕事を通じてひとり一人が充実感を持ち、自己実現が図られるように支援します。 ○職場が単に作業を提供するだけの場所にとどまら	基本方針は、概ね実施できたと考えています。SST研修会や企業見学会を通じて、働くことと生活支援について意思形成段階からの支援に努めました。特に衛生管理や金銭管理を中心に、自律を目指して支援を継続しました。 この他、定年退職後の生きがい対策、また、生活を維持するための生産活動の場として、札幌市のご理解を得ながら自主事業とし	A	B	C	D
			・基本方針に則り、適正に管理運営がなされている。			

	ず、生活に張りりと豊かさを与える環境であり、生活の糧となるよう事業を展開します。 ○定年退職後も地域生活を継続できるように、ゆったりと働ける環境と生活相談を実施します。	て就労継続支援B型を開設しました。	
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 就労継続支援という機能にとらわれず、職業体験の場として広く自立センターを活用していただく。 ・自立センターのサービスを希望する方々が公平公正に支援を受けられるよう利用希望者への情報提供を行い、高等支援学校、就労移行支援事業所、他関係団体との連携を密に行っている。 ・近隣中学校の特別支援学級の生徒、高等支援学校の生徒の職場実習を積極的に受け入れ、本人が自身の適正(職業の)を見極める場としての提供も行っている。 ・利用契約者以外の相談にも積極的に応じ関係機関との連携のもとご本人の希望に応じた情報の提供を行っている。 ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ・エネルギー使用の合理化に関する法律を遵守し、社会自立センターにおけるエネルギーの使用を利用者の活動に支障をきたさない範囲で適切に管理し合理化を図ってきた。 ・エネルギー使用の大部分が洗濯業務における電力、重油であり機械の効率的な運転、日々のメンテナンスを心掛け、使用料の削減に努める。 ▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) ・指揮命令系統の明確な組織体制のもと、業務分掌を行いそれぞれの部門に責任者を配置し管理運営に必要な体制を業務計画概要にて全体周知してきた。 ・職員配置は、基準より多く配置し手厚い支援を行える体制を作るとともに研修計画をもとに、障がい理解及び障がい者の就労に関わる研修に積極的に参加してきた。 ・資格取得に向けた取り組みを行う。	中学校及び高等支援学校から複数の実習生を受け入れました。またHWで求人したところ、相談支援事業所や就労移行支援事業所等から複数の応募があり、随時見学や説明の機会を設けました。HPとリーフレットも刷新し、平等利用に向けて取り組んでいます。 札幌市環境マネジメントに基づいた管理を行い、省エネルギー化に努めました。使用料の低下に伴い電気契約を55kwから14kwに見直すことができました。 責任者を定め、業務分掌により業務遂行に努めました。社会情勢に対応するため、外部研修参加を推進し、内部でフィードバックを行いました。事業運営に必要な資格講習の他、権利擁護虐待防止研修と国家資格取得を推進しています。	
	▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 ・市の障がい福祉施策と整合性を図り、安定かつ継続的なサービス提供に努める。	就労継続支援A型事業所として、また指定管理事業所と	

	・利用者のニーズ・障害特性に配慮し、アセスメントを行いそれをしっかりと個別支援計画に反映させ、日々の打ち合わせや職員会議、業務会議、図書館担当者会議を開催しきめ細やかな支援を行う。 ・事故防止においては、「ヒヤリ・ハット」報告、「事故報告書」を精査し事前の事故防止や職員の意識強化を図り、安全・安心な職場環境に努める。 ・利用者本人や保護者が気軽に相談できる体制を作り、課題解決に向けた相談援助を行う。	して目的に沿って取り組むことで、運営の安定化に努めました。意思決定支援の取り組みや事故防止活動、相談の機会の増加、一般就労支援等、現状から改善となるように取り組みました。				
	▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認) 電気保安をはじめ機械整備に関わる分野について委託する。監督及び履行確認は徹底してきた。第三者に委託し承認されている管理業務は以下のとおり。 ①自家用電気工作物保安管理業務 ②機械警備(防犯警備、火災異常監視、設備異常監視) ③ボイラー設備保守点検業務 ④消防用設備点検業務 ⑤地下油タンク及び埋設配管の漏洩点検業務 ⑥水質検査 ⑦水洗機、乾燥機点検 ⑧除排雪業務	再委託の適正化、確認に努めました。左の項目について協議書を提出し、契約を締結しています。 すべての項目について、滞りなく実施いたしました。				
	▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催) <table border="1"><thead><tr><th>開催回</th><th>協議・報告内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回</td><td>R8/3/2開催 ・自立センターの現状と課題・展望について ・利用者アンケート結果について</td></tr></tbody></table> <協議会メンバー> 札幌市保健福祉局障がい福祉課運営指導係長・及び担当職員、札幌市立札幌小学校校長、社会福祉法人わらしべ会理事長、利用者代表、保護者代表各1名、社会自立センター管理者、社会自立センターサービス管理責任者。 計8名 ▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) ・法人の経理規程、事務規程の則った会計を行っている。 ・法人監事監査(年4回)の他、監査法人による予備監査を実施している。 ▽ 要望・苦情対応 ・法人苦情解決システムに関する規程に則り解決のための体制、方法を確立している。	開催回	協議・報告内容	第1回	R8/3/2開催 ・自立センターの現状と課題・展望について ・利用者アンケート結果について	現状と課題またその改善策について説明し意見をいただいています。新たな課題も含めて、令和8年度も引き続き取り組みます。 利用者アンケートでは、接遇と総合の項目において、「満足」「まあ満足」が100%となりました。継続して評価されるよう、支援に努めます。 監事監査では適切な処理をしていると評価されています。監査法人監査で指摘された事項は都度対応しています。 苦情・意見箱を設置していますが意見はありませんでし
開催回	協議・報告内容					
第1回	R8/3/2開催 ・自立センターの現状と課題・展望について ・利用者アンケート結果について					

	・家族、本人と面談し、要望や意見を聴取している。 家族からは現状維持の希望が多かったが、利用者からは様々な希望が聞かれた。一般就労希望者には就労支援を行っている。	た。	
	▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ・札幌市への月次報告等を定期的の実施するとともに、依頼に応じて対応している。 ・年度当初に事業計画を配布し、事業所の目標、目的を説明し、定期的に支援が目標に達しているかを評価している。	個別支援に対するモニタリング、計画の見直しを行っています。 札幌市からの検査等については迅速に対応しました。	
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) 労働三法、その他関係法令を遵守し、監督官庁には必要な届出を行っている。 ・社会福祉事業を取り巻く環境の変化に対応すべく、福祉サービス提供者として職員ひとり一人が資質の向上を図りながら、法人事業全体のレベルアップを目指すことから人事考課制度を導入している。 ・利用者においては、法定福利(雇用保険、社会保険、厚生年金、退職共済)に加入している。	利用される方の労働環境を整え、関係法令を遵守しています。 職員は人事考課制度を活用し、自己研鑽により支援の質を高めるよう取り組みました。	A B C D ・仕様書に基づき、労働関係法令の遵守等がなされている。
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) 職場の安全管理は、整理整頓、保護具の着用をはじめ徹底して行っている。保険関係は、建物火災保険。利用者については、施設賠償保険に加入し万が一の時に対応できる体制を整えている。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) 施設及び設備全般の機能を良好に維持管理するとともに、日常点検、定期点検、その他必要な保守点検業務を実施。屋上部分の定期点検、ルーフトレンの清掃、館内のワックスは確実にしている。敷地内については利用者と職員で整備している。 作業で使用する洗濯機と乾燥機の修理を行っているが、蒸気ボイラーは管体が破損しており、修理か交換を検討している。 ▽ 防災 地震、火災、風水害の災害及び事故などが発生した場合に迅速かつ的確な対応ができるよう、防災計画を定め、防火管理者を中心に日頃から訓練を行い、利用者、職員などの安全確保を図ってきた。	備品の交換や整理整頓等により労働環境を整備し、従業者には作業着を貸与して安全管理に努めました。保険加入については、一昨年の指導に基づき、基準を満たす契約としています。 建物や設備は点検、清掃、修理を適宜実施しています。 防災訓練は年2回、災害訓練と併せて計画通りに実施しています。また非常災害対物資の更新も行いました。 令和7年度においては札幌市にご協力をいただき、懸案であった自動ドアの改修工事を完了することができました。	A B C D ・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。
(4)事業の計画・実施業務	▽ 職員に関する学習機会の提供業務		A B C D

	質の高い就労支援の提供と安定した収入の確保、健康で豊かな生活を送るための地域支援活動を重点課題とし取り組んできた。令和6年度は権利擁護虐待防止にかかる研修のほか、意思決定支援や就労支援にかかる研修を中心に外部研修に参加するとともに、資格取得の推進に努めた。	意思決定支援、権利擁護・虐待防止、就労支援を中心に外部研修に参加しました。また、事業所内では個人情報保護や感染症対策研修を実施し、安全と衛生に努めています。	・利用者個々人の適性に応じたきめ細かい配慮によりサービスが提供されている点は評価できる。																																
	▽ 障がい福祉施策に関する情報収集及び提供業務 各学校、就労移行支援事業所、社会福祉協議会との連携により、実習の受入れを行う。また、ハローワーク、高齢・障がい者雇用支援センターと密接な関係を保持し、諸手続き、就労斡旋など適切な支援業務も行っている。 ホームページを利用し事業所の情報提供を行う。見学者の積極的な受け入れを行う。 ▽ 障がいに関する市民の自主活動及び交流の支援業務 社会福祉協議会からのボランティアや、学生のインターンシップの受け入れにより、地域、社会の障がい理解を推進する。 地域貢献活動として近隣公園、道路の清掃活動に参加する。 ▽ 進路に関する相談業務 利用者、またその家族との対話を通じて将来の生活や就職について把握し、必要に応じて相談支援事業所、他法人の就労移行支援事業所、障害者職業センターとの連携を図り、本人が希望する社会生活の実現を目指す。	社協が実施する資格取得のための現場実習を6名受け入れました。職員採用や利用希望等の見学者は随時受け入れ、ホームページで広報を行いました。 学生のインターンシップは法人で一括して受け入れております。地域貢献として近隣の清掃・除雪活動や砂撒き運動、110番の家支援事業等を実施しました。 ほとんどの利用者が現状維持を希望していますが、徐々に一般就労希望者が増えています。本人の気持ちと向き合いながら就労支援を実施します。																																	
(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等 (人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R6年度実績</th><th>R7年度計画</th><th>R7年度実績</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用延べ人数(a)</td><td>7,417</td><td>8,070</td><td>7,050</td></tr> <tr> <td>開所日数(b)</td><td>269</td><td>269</td><td>269</td></tr> <tr> <td>人数/日(a/b)=(c)</td><td>27.6</td><td>30.0</td><td>26.2</td></tr> <tr> <td>契約人数(d)</td><td>31</td><td>31</td><td>28</td></tr> <tr> <td>利用率(定員(c)/30)=(e)</td><td>92%</td><td>100%</td><td>87%</td></tr> </tbody> </table>		R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績	利用延べ人数(a)	7,417	8,070	7,050	開所日数(b)	269	269	269	人数/日(a/b)=(c)	27.6	30.0	26.2	契約人数(d)	31	31	28	利用率(定員(c)/30)=(e)	92%	100%	87%	就労継続支援B型開設に伴い、高齢の方やA型の活動が負担になっている方4名がB型に移行しました。HWを通じて募集をかけているため、次年度には定員を満たすと予想しています。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ・基本方針に則り、適正に管理運営がなされている。	A	B	C	D				
	R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績																																
利用延べ人数(a)	7,417	8,070	7,050																																
開所日数(b)	269	269	269																																
人数/日(a/b)=(c)	27.6	30.0	26.2																																
契約人数(d)	31	31	28																																
利用率(定員(c)/30)=(e)	92%	100%	87%																																
A	B	C	D																																
(6)付随業務	▽ 広報業務 ・ホームページの更新、東区社会福祉協議会登録など。JIS X8341-3:2016の適合レベルAAに準拠。 ・札幌会広報誌「それいゆ」・広報誌「ドリーム」の発行(各年2回以上)	ホームページを更新して情報公開を推進し、広報を年3回発行しました。そ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ・各種広報媒体を利用した活動は評価できる。	A	B	C	D																												
A	B	C	D																																

		の他、高等支援学校を訪問して、活動をアピールするとともに、利用希望者を募りました。					
	▽ 引継ぎ業務 前回からの継続しての引き継ぎ業務はなし。	継続します					
2 自主事業その他							
▽ 自主事業	・就労継続支援B型事業を定員10名で開設している。 ・A型で60歳を超えた方や、A型での福祉的就労が困難になっている方4名を受け入れている。 ・次年度以降も定年退職者を中心に受け入れるとともに、A型同様新規利用者を得ることが課題となる	令和7年10月1日に、A型事業の定年退職者の受け入れを想定して開設しました	A B C D ・適正に事業を実施している。 ・新規利用者の獲得に係る課題については、解決に向けた継続的な工夫に努めてほしい。				
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等	・第三者委託は、すべて札幌市内の業者。 ・事務用品及び消耗品も市内業者より購入している。	継続します					
3 利用者の満足度							
▽ 利用者アンケートの結果	<table><tr><td>実施方法</td><td>・実施期間 令和8年2月7日～令和8年2月28日 ・対象者/回収率 利用者28名/100% ・調査方法 記名の自計式アンケート</td></tr><tr><td>結果概要</td><td>(就労継続支援A型のみ) ①次年度の作業日数、作業時間について「現状維持」89.3%「増やしたい」7.1%「辞めることを考えている」3.6%②建物・設備が衛生的で整理されているか「衛生的で整理整頓されている」92.9%「不衛生だが整理整頓されている」7.1%③今の仕事を続けたいか「クリーニングの仕事がしたい」17.9%「図書館の仕事がしたい」71.4%「他の道(就労・別施設)を考えている」10.7%④職員の支援は十分か「今の支援で十分」89.3%「生活面の支援をしてほしい」3.6%「具体的な就労支援をしてほしい」3.6%「それ以外の支援をしてほしい」3.6% ⑤勉強会や見学会に楽しく参加できているか「楽しいので増やしてほしい」64.3%「多く開催しないでほしい」35.7%⑥年次有給休暇はとれているか「満足」96.4%「満足に取れなかった」3.6%⑦生活や家庭の相談がしやすいか「何かあれば相談する」100%⑧センターの総合的な満足度「とても満足」「まあ満足」100%⑨職員が挨拶をしているか「いつも挨拶をしている」100%⑩職員が丁寧な言葉遣いをしているか「している」100%⑪職員は、意見や希望を聞いてくれるか。真剣に答えてくれているか「話を聞いて真剣に答えてくれる」100%⑫接遇の総合的な満足度「大変良かった」「まあ良かった」100%</td></tr></table>	実施方法	・実施期間 令和8年2月7日～令和8年2月28日 ・対象者/回収率 利用者28名/100% ・調査方法 記名の自計式アンケート	結果概要	(就労継続支援A型のみ) ①次年度の作業日数、作業時間について「現状維持」89.3%「増やしたい」7.1%「辞めることを考えている」3.6%②建物・設備が衛生的で整理されているか「衛生的で整理整頓されている」92.9%「不衛生だが整理整頓されている」7.1%③今の仕事を続けたいか「クリーニングの仕事がしたい」17.9%「図書館の仕事がしたい」71.4%「他の道(就労・別施設)を考えている」10.7%④職員の支援は十分か「今の支援で十分」89.3%「生活面の支援をしてほしい」3.6%「具体的な就労支援をしてほしい」3.6%「それ以外の支援をしてほしい」3.6% ⑤勉強会や見学会に楽しく参加できているか「楽しいので増やしてほしい」64.3%「多く開催しないでほしい」35.7%⑥年次有給休暇はとれているか「満足」96.4%「満足に取れなかった」3.6%⑦生活や家庭の相談がしやすいか「何かあれば相談する」100%⑧センターの総合的な満足度「とても満足」「まあ満足」100%⑨職員が挨拶をしているか「いつも挨拶をしている」100%⑩職員が丁寧な言葉遣いをしているか「している」100%⑪職員は、意見や希望を聞いてくれるか。真剣に答えてくれているか「話を聞いて真剣に答えてくれる」100%⑫接遇の総合的な満足度「大変良かった」「まあ良かった」100%	記名式でアンケート実施しました。①から⑦まではサービスに対する希望、⑧で総合的な満足度を聞き、100%の方から満足ないしはまあ満足の回答を得ています。⑨から⑪までは職員の接遇、⑫で接遇の総合的な満足度について聞き、100%の方から満足ないしは、まあ満足の回答を得ています。利用される方の障害種別の多様化や、年齢構成の幅の広さは課題となりますが個別の意向を確認しながら満足いただけるように努めていきます。	A B C D ・要求水準を10%以上上回る満足度であり、高く評価できる。 ・アンケートの項目により具体性を持たせ、運営に反映させようという試みは高く評価できる。
実施方法	・実施期間 令和8年2月7日～令和8年2月28日 ・対象者/回収率 利用者28名/100% ・調査方法 記名の自計式アンケート						
結果概要	(就労継続支援A型のみ) ①次年度の作業日数、作業時間について「現状維持」89.3%「増やしたい」7.1%「辞めることを考えている」3.6%②建物・設備が衛生的で整理されているか「衛生的で整理整頓されている」92.9%「不衛生だが整理整頓されている」7.1%③今の仕事を続けたいか「クリーニングの仕事がしたい」17.9%「図書館の仕事がしたい」71.4%「他の道(就労・別施設)を考えている」10.7%④職員の支援は十分か「今の支援で十分」89.3%「生活面の支援をしてほしい」3.6%「具体的な就労支援をしてほしい」3.6%「それ以外の支援をしてほしい」3.6% ⑤勉強会や見学会に楽しく参加できているか「楽しいので増やしてほしい」64.3%「多く開催しないでほしい」35.7%⑥年次有給休暇はとれているか「満足」96.4%「満足に取れなかった」3.6%⑦生活や家庭の相談がしやすいか「何かあれば相談する」100%⑧センターの総合的な満足度「とても満足」「まあ満足」100%⑨職員が挨拶をしているか「いつも挨拶をしている」100%⑩職員が丁寧な言葉遣いをしているか「している」100%⑪職員は、意見や希望を聞いてくれるか。真剣に答えてくれているか「話を聞いて真剣に答えてくれる」100%⑫接遇の総合的な満足度「大変良かった」「まあ良かった」100%						

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)
収入	124,939	125,123	184
指定管理業務収入	67,656	67,584	▲ 72
指定管理費	59,770	59,546	▲ 224
利用料金			0
その他	7,886	8,038	152
自主事業収入	57,283	57,539	256
支出	118,850	118,100	▲ 750
指定管理業務支出	62,028	61,589	▲ 439
自主事業支出	56,822	56,511	▲ 311
収入-支出	6,089	7,023	934
利益還元			0
法人税等			0
純利益	6,089	7,023	934

▽ 説明

○概ね計画通りの収支状況となっている。
 ○業者の見直しなどを実施したが、支出額が増額した。最低賃金上昇に伴う人件費の増額や物価高騰に伴う光熱水費、燃料費の増額等が主な要因となっている。

指定管理収支＝、就労継続支援B型開設により、契約者数が減少しましたが、就労移行支援体制加算の算定算定により、例年の水準で給付費を得ています。

自主事業収支＝就労支援事業収入では、図書館は一館が改修工事により減額となりました。クリーニング作業は業者変更により収入減となったものの、経費も減少したことで、収支差額が改善しました。しかし、最低賃金の上昇や物価高騰作業業収入の増加率を上回っており、更なる改善が必要となっています。

A B C D
 ・安定的な運営が図られている。
 ・経費の削減など、改善に向けた努力が感じられる。
 ・収益を活用し、更なる支援の質の向上に努めていただきたい。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

○事業運営上は積立金を保っているが、拠点区分間繰入をすることができず、資金収支差額は運営上必要な額しか計上できていない。施設外就労が多いため人件費の圧縮は限界だと考えている。
 ○就労支援会計においては、最賃の上昇、物価の高騰による影響が見られているが、根本的には収支に見合った作業が必要となっている。賃金向上委員会(B型においては工賃向上委員会)を通じて、作業収入の増加を目指す。

経営上は安定しておりますが、就労支援事業収支は、人件費と物価の高騰により厳しい状況となっています。次年度の課題とします。

適 不適
 ・安定した運営を保持している。

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

個人情報保護等については法令、条例を遵守しています。
 札幌市暴力団の排除の推進に関する条例を周知して対応している。各条例の規定により、適切に対応した。
 協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。

暴力団排除推進条例の適用等、法制度、規程を遵守しております。

適 不適
 ・各条例を遵守し、適正に対応している。

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
1. 就労支援体制の確立 令和7年度は就労実績がありませんでした。しかし、一般就労移行希望者が複数名でいるため、就労意欲の向上に向けた取り組みはできていると考えます。次年度からは、個別の課題に向き合いながら、具体的な就労支援の提供に努めます。 2. 新規作業の確立 本体施設では計画に基づき、自主事業として建物特殊清掃、寝具クリーニング、企業からの受託作業を開始しました。また、主たる受託するクリーニング受託事業者を株式会社すずらん商事からワタキューセイモア株式会社に更改しました。今後は企業や顧客からの信用を得て、事業を拡大することに取り組んでいきます。 3. 賃金の向上 計画に則り、賃金の向上を目指します。前述2の通り、作業の拡充に努めます。 4. 支援技術の向上 資格取得、就労支援技術の向上、意思決定支援の推進、権利擁護・虐待防止の取り組みの4本を柱に支援の質の向上に努め、様々な研修会に参加しましたが、資格取得については取り決めていません。次年度においては資格取得にも努めていきます。 5. 実習・見学者受け入れの推進 複数の高等支援学校を訪問し、実習生2名を受け入れたほか、中学校からの体験学習も受け入れています。HW経由で応募があった方にも見学や体験の機会を設けています。また、社協が主催する介護体験事業や教職員資格取得のための実習生を受け入れてきました。次年度も継続していきます。 6. 建物・設備の維持管理 かねてから申請していた自動ドアについては札幌市にご協力をいただき無事に修繕を終えることができました。定期点等は札幌市と協議の上、専門業者に委託して整備・維持に努めます。設備・備品のうち、軽微なものについては、協議のうえ、随時代替品との交換を行っています。	1. 就労支援の実施 具体的な目標として、年度内に1名以上の一般就労移行に取り組みます。 2. 賃金・工賃向上の取組み 図書館清掃業務については継続して実施しますが当年度は、仕様書において業務が一部縮小されており、将来的には不安を抱えています。事業が安定しているうちに、自主事業と委託クリーニング作業を拡充して賃金・工賃の向上に努めます。 3. 支援の質の向上 就労継続支援B型の開設に伴ってできた就労継続支援A型の利用者の空床については、随時採用を進めており、次年度で定員数まで回復できていると考えています。しかし、新しく採用された方は、知的障がい以外の応募者が多く、これまでの支援アプローチが通じない場面が増えています。障害種別に応じた支援が提供できるように、支援技術の向上に努めます。また、意思決定支援を推進し、意思形成から自己決定に至るまでに重点をおいて生活・就労に向けた支援を提供します。 4. 職員・利用者の資格取得 自主事業を拡充するため、専門的な技術が必要となっています。職員・利用者の清掃・クリーニングの専門資格取得を推進します。このほか、3に掲げる支援の質の向上に向けて、専門研修への参加を推進します。 5. 利用者の充足 年度当初はA型28/30名、B型4/10名の利用者数となっています。A型については定員を満たすこと、B型については今後の受け入れを考え、定員の半数以上を満たせるよう、努めます。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
・自主事業の開始に伴い空きがでたA型については、可能な限り早い段階での充足をお願いしたい。 ・個々の特性に応じたきめの細かい支援を行っており評価できる。 ・総合的な満足度の上昇について、事業所の日々の支援、関わり方や受託業務などの創意工夫によるものであり、高く評価することができる。	・引き続き、利用者処遇の向上に努めること。 ・収益を活用し、更なる支援の質の向上に努めること。 ・多様な障がい特性に対する理解の促進などの研鑽に注力していただき、具体的な目標である、年度内に1名以上の一般就労移行の実現に努めること。